

エルゴ・ブレインズ社株式の公開買付けが当社業績へ与える影響等について

当社は本年 5 月 31 日より 6 月 20 日の期間において実施したエルゴ・ブレインズ社(以下、エルゴ社)株式の公開買付けにより、同社株式の所有比率を約 38.5%まで引き上げました。この公開買付けが当社業績に与える影響、及び今回の公開買付けも含めたエルゴ社への出資目的について以下にご説明いたします。

1. 「本公開買付けの直接的な影響について」

今回の公開買付けの結果、当社のエルゴ・ブレインズ社(以下、エルゴ社)株式の所有比率は 23.70%から 38.48%へと増加しました。

エルゴ社は当社にとって持分法連結の対象会社ですので、同社の損益が当社の出資比率(所有比率)に応じる形で当社の連結決算上の経常損益に加算されます。このため今回の出資比率引き上げによって、今後エルゴ社の損益が当社損益へ与える影響度合いが増すこととなります。

当社は過去に取得した株式については全ての「のれん代」を償却済みですが、今回新たに取得する株式については、別途「のれん代」が発生します。

2. 「今回の公開買付けの目的及び今後の取組み方針について」

当社は大きく以下の 2 点を企図して、今回の公開買付けを含めたエルゴ社への出資を行って参りました。

「ネット広告領域への寄与」

まず第一に、エルゴ社の主力商品である DEmail が当社のネット広告事業の領域において大きく寄与する点が挙げられます。DEmail はメール媒体の中でも No.1 のポジションにあり、広告主企業からの引き合いも多い強力な媒体であります。当社はこれまでのエルゴ社への出資に伴い、当 DEmail 商品を独占販売する権利を獲得しており、これは当社業績に対するプラス要因となっています。

「ネット関連領域のうち、ネット広告以外の領域への寄与」

当社の最終クライアントである広告主企業が展開するビジネスは今後ますますインターネットとの関連が増していくものと考えられます。当社としては主力事業であるネット広告事業について、引き続き努力して参る所存ですが、それ以外の領域についても積極的に事業開拓を行っていきたいと考えています。具体的には、直近では E コマース、リサーチ等の領域を検討しています。エルゴ社は 200 万人を超える DEmail 会員を有しておりますが、これが同社の最大の事業資産であると当社は認識しており、今後この会員資産をベースにした E コマース等の新規事業を開発、早期に収益性を確立し、当社グループとして新たな収益源の獲得を図ります。また、当社は今回の公開買付けの完了後、同社へ常勤役員を派遣し、協業関係をより強化します。

当社は、今回のエルゴ社株式の公開買付けも含め、今後も戦略的な投資を積極的に行うことで、既存事業のみに頼らない中長期的な業績成長、及びそれに伴う企業価値の向上を実現していきたいと考えております。

お問い合わせ先: デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社

担当: 加藤

TEL: 03-5449-6300 E-mail: ir_info@dac.co.jp